<NEWS RELEASE>

2026年11月26日
WILLER 株式会社

【参加費無料】冬の奥入瀬渓流を自動運転車両で巡るネイチャーガイドツアーを開催！
～氷瀑や氷柱など、冬の奥入瀬が創り出す自然の芸術美を楽しむ2時間～

WILLER 株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役：村瀬 茂高、以下「WILLER」）は、青森県が実施する奥入瀬渓流における冬季自動運転実証実験の運営を受託し、2026年12月19日（土）から2027年2月8日（月）までのうち23日間、冬の奥入瀬渓流を自動運転技術を活用した小型電気自動車で巡るガイドツアーを開催します。それに伴い、本日より特設サイト（https://travel.willer.co.jp/maas/autonomousdriving-oirase/2026/）にて参加者を募集します。



本ツアーでは、自動運転技術を活用した車両に乗って冬の渓流沿いをゆっくりと巡りながら、ガイドの案内を通じて奥入瀬の自然やその成り立ちに触れることができます。途中の見どころでは車両を降りて散策する時間も設け、冬ならではの奥入瀬の自然を、移動と散策の両方から楽しめる、約2時間のツアーです。

参加費は無料で、午前・午後の各回4名限定。冬ならではの奥入瀬の自然を、新しい移動体験とともに楽しめる、期間限定の特別な観光コンテンツです。

冬の奥入瀬を楽しむ自動運転ガイドツアーの魅力は、以下3点です。

①小型電気自動車で、冬の奥入瀬渓流をゆっくり巡る

使用するのは、ヤマハ発動機製の小型電気自動車「AR07」。静かで環境にやさしい電気自動車に乗って、冬の奥入瀬渓流沿いをゆっくりと巡ります。自動運転技術を活用した新しいモビリティで、冬の渓流散策を楽しめます。

②ガイドと一緒に、奥入瀬の自然を深く知る

ガイドが奥入瀬の自然環境や成り立ち、見どころを解説します。普段何気なく眺めている景色も、その背景を知ることで、これまでとは違った魅力に出会えます。

③車両を降りて、冬ならではの自然の芸術美を楽しむ

ツアー途中には、見どころのポイントで車両を降りて散策します。雪に包まれた渓流や、寒さが生み出す氷瀑・氷柱など、冬ならではの自然が創り出す景色を間近で楽しめます。静寂に包まれた冬の奥入瀬をゆっくり味わえるのも、このツアーならではの魅力です。

事前予約により、お子様から大人まで参加いただけます。是非、冬の奥入瀬ならではの自然の魅力と、新しいモビリティ体験をお楽しみください。

WILLER は、本実証実験を通じて、地域の自然環境に配慮しながら、その土地ならではの魅力を深く楽しめる観光コンテンツの創出と、持続可能な観光地域づくりに取り組んでまいります。

■ ツアー概要


<走行イメージ>

・実施期間：2026年12月19日（土）～2027年2月8日（月）のうち23日間
・実施回数：1日2回（午前・午後）
・所要時間：約2時間
・定員：各回4名
・参加費：無料（実証実験のため）
・使用車両：ヤマハ発動機製 小型電気自動車「AR07」
・内容：自動運転技術を活用した車両で奥入瀬渓流沿いを巡り、
　　ガイドの案内や散策を楽しむツアー
・予約方法：特設サイト内の予約ページ（https://travel.willer.co.jp/maas/autonomousdriving-oirase/2026/ ）
　　よりお申し込みください。

※実施日・運行時間等の詳細は予約ページをご確認ください。
※天候や路面状況等により、運行内容の変更または中止となる場合があります。

■ 実証実験の背景・目的

・冬季の奥入瀬に、新たな観光の楽しみ方を

奥入瀬渓流は、新緑や紅葉の季節に多くの観光客が訪れる傾向にあります。今回の取り組みでは、冬ならではの自然の魅力を楽しめる新たな観光コンテンツを創出することで、年間を通じた観光需要の平準化を目指します。

奥入瀬地域では、自然環境の保全と観光利用の両立を目指す将来像「奥入瀬ビジョン」が掲げられており、実現に向けた施策の一つとして、奥入瀬（青橅山）バイパス完成後の国道102号における車両交通規制の導入が予定されています。その一環として、渓流沿いをゆったり移動しながら自然を楽しめるグリーンスローモビリティなど、新たな交通手段の活用も検討されています。

今回のガイドツアーは、単に車窓から景色を眺めて通過するのではなく、ガイドの案内や散策を通じて奥入瀬の自然を深く楽しむ、滞在型観光コンテンツの可能性を検証するものです。

・積雪環境における自動運転の可能性を検証

積雪や凍結が発生する冬季は、路面状況や周囲の環境が変化するため、自動運転車両の安定した運行には高度な技術が求められます。

今回は、秋田県上小阿仁村をはじめとした地域で導入されているヤマハ発動機の電磁誘導式車両を活用します。奥入瀬渓流の冬季環境下での自動運転の可能性や、ガイドが同乗する観光サービスとしての運行に向けた課題を検証し、将来的な社会実装を目指します。

■ 実施体制

・実証計画主体：青森県 県土整備部 道路課
・運営受託・全体管理：WILLER 株式会社
・電磁誘導式車両提供：ヤマハ発動機株式会社
・地域運行・ガイドツアー：株式会社 FORESTON